令和2年度に向けて

武蔵野市長　松下玲子（まつしたれいこ）

第六期長期計画の実行に向けて

このたび、第六期長期計画を策定いたしました。長期計画の策定方法は約50年前から続く、今では世に「武蔵野市方式」と呼ばれている市民参加、議員参加、職員参加を旨とした計画づくりです。

市長になって初めて策定した長期計画の実行年度を迎えるにあたり、この2年間、選挙で公約したことをきちんと長期計画に位置付けようと、策定委員・議員の皆さま、職員とも議論を重ねて、策定に力を注いできました。

その1つが、子どもの医療費の無償化です。けがや病気は、本人の努力とは無関係に起こります。日ごろから体を鍛え、健康を気遣う人であっても、ある日、けがや病気になることがあるのです。現在、市は15歳の義務教育修了時まで医療費は無償ですが、児童福祉法が子どもと定義する18歳になるまでその対象を広げ、子育て世代の方や、病気療養中の方には、金銭的な不安なく、療養や治療に専念をしていただきたいと願っています。

今年のオリンピックとパラリンピックについて

昨年はラグビーワールドカップが日本で初めて開催され、市でもさまざまな関連イベントを実施しました。そして今年はいよいよオリンピック・パラリンピックが開催されます。7月17日（金）には、大会の聖火リレーが吉祥寺駅北口から陸上競技場まで行われます。陸上競技場では聖火の到着を祝うセレブレーションも予定していますので、ぜひ皆さまもご参加ください。

大きな国際大会では、世界中の方が日本に訪れます。国籍、文化、性別、障がいの有無など、人の多様性を学び、また自分を知ることができる素晴らしい機会です。大会をきっかけに多様性を認め合える支え合いのまちにしていくことが大切だと思っています。

また、トップアスリートの競技を見て楽しむだけでなく、私たち一人ひとりも、健康のために体を動かす。そうした習慣が広まるといいなと思っています。

新しい環境啓発施設にもご注目ください

新クリーンセンターの稼働後、旧クリーンセンターの一部を環境啓発施設「むさしのエコreゾート」として改修しています。すでに建物の外観ができ、11月には開館する予定です。

旧クリーンセンターは、36年前に市民と行政が議論を重ねて実現した、市民参加の象徴ともいえる施設です。今回の建設に際しても市民との議論を約10年重ね、その運営、活用、名称などを皆で決めてきました。

近年は大雨や台風による被害が深刻で、それも地球温暖化の影響であろうと考えられており、「気候危機」の時代だともいわれます。そうしたなか、「むさしのエコreゾート」が、皆が環境に関心をもち、考え、行動するための施設となることを願っています。一人ひとりの行動はたとえ小さくても、皆が自分にできることを行い、発信し、つながっていけば大きな動きにしていけるはずです。これまでも、これからも、皆さまと一緒に運営し、環境啓発に取り組める施設として、ぜひ積極的にご参加いただければと思います。

平和の尊さを改めて考える年に

今年は、戦後75年という節目の年です。改めて戦争の悲惨さや平和の尊さを、しっかりと市から発信していきたいと思っています。

武蔵野市には中島飛行機武蔵製作所があったことで、昭和19年11月24日に初空襲を受け、以降9回の空襲により、多くの方が犠牲になりました。今、私たちは長期計画を実行したり、オリンピック・パラリンピックを楽しんだり、環境啓発に取り組んだりしていますが、そのすべては「平和」の上に成り立っています。今回の長期計画の中では、これまで「文化・市民生活」という章立てをしていたところに、「平和」という項目を追加しました。改めて市民の皆さまと平和について考えて、行動し、それを未来に向かって、しっかりと引き継いでいきます。